

# 西中 夢だより



Web <http://www.kaitanishi-j.ed.jp/>

E-mail [kaitanishi-jh01@kaitanishi-j.ed.jp](mailto:kaitanishi-jh01@kaitanishi-j.ed.jp)

学校通信 11月号

発行 海田西中学校校長

## 相手尊重し、『自分をコントロールする』価値！

10月27日(土)31回目の海田西中学校文化祭を開催しました。本校の生徒がこれまで積み上げてきた学習の発表の場です。文化部・各教科・各委員会などのステージ発表や展示、どれも質の高いものばかりです。中でも各学級の合唱は音楽科や担任の先生等の指導の下、生徒が主体的に話し合い工夫や改善を図って築き上げたものです。この合唱祭は安芸郡音楽会の出場権をかけたコンクールにもなっており、三年生の両学級にとっては最後のチャンスとなっています。

閉会式での結果発表。まずは各学級の賞が発表され、いよいよ最優秀、安芸郡音楽会出場クラスの発表です。「最優秀は3年2組」。発表の瞬間、大きな歓声が上がります。中には涙を流している生徒もいます。しかし、次の瞬間です。先ほどまでの歓声はすぐにやみました。この態度にこそ西中生徒の価値があると思います。同じように努力を重ねてきた3年1組をはじめ他のクラスに敬意を払い、「驕らない」「高ぶらない」そして次のことをすぐに考え自分をコントロールすることができたのです。

剣道日本選手権で優勝者の西村英久氏がテレビ番組で好きな言葉を「残心」と話していました。剣道で「残心」とは「技を決めた後でも油断しない」「相手を尊重し、相手がいることに感謝の気持ちを持つ」といった意味のようです。

本校の生徒には、どのような状況でも「他を思いやり」「気を抜かず次への準備をし、気持ちを切り替える」まさに「残心」が育っています。



3-1 合唱



3-2 合唱



吹奏楽部演奏

## 安芸郡・江田島市中学校新人大会 10月13(土)~14(日)

新チームになって初めての公式大会となる安芸郡・江田島市中学校新人大会が行われました。どの部活動も声を掛け合い、自分たちでチームの士気を高め試合に臨む姿が見られました。結果は、サッカー部が2位、女子バスケットボール部が3位、ソフトテニス部(井上結喜・新見真唯花ペア)がベスト8に勝ち上がり、11月17・18日に行われる呉・賀茂新人大会に出場します。応援よろしくをお願いします。





## 「地域テーマ募金」 ありがとうございました

H29 年度 1 月の学校だよりで、地域を元気にするための募金として皆様にご協力いただきました

「地域テーマ募金」は、3月末までに 101,071 円の寄付をいただきました。この「地域テーマ募金」は、海田西中によせられた応援資金（募金）と同額が支援されるというシステムで、広島県共同募金会から 202,142 円の助成交付金をいただいています。

今回、この助成金は、こどもたちの発表を効果的に行い、意欲や自信を育成する目的で、短焦点型のプロジェクターを購入させていただきました。先日の文化祭の発表ですでに活用させていただいています。また、植栽活動などでも「地域テーマ募金」を活用させていただきたいと考えています。たくさんの温かいご支援をいただきありがとうございました。

## 各種表彰

実りの秋とよく言われますが、先月、たくさんの学習の成果として賞をいただきましたので紹介します。

- 第 24 回安芸郡中学校英語暗唱大会 最優秀賞 3-2 大倉理子
- 平成 30 年度健康づくりポスター 優秀賞 2-2 磯邊なな子 優良賞 3-2 佐々木愛花
- 第 18 回中国新聞みんなの新聞コンクール 中国新聞販売所連合会賞 3-2 大倉理子
- 平成 30 年度「ひろしま給食 100 万食プロジェクト」
  - 特別賞（企業賞） 1-2 廣岡 稜久 「わけぎとベーコンのチーズマフィン」
  - 「ひろしまおやつ」メニューレシピ集 2-2 重松 美憂 「さっぱりレモンのフレンチトースト」
- 平成 30 年度「租税作品」習字 公益社団法人広島安芸法人会長賞 3-1 福原菜々子
- 「楽しい子育て全国キャンペーン」
  - ～家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩
  - 中学生の部 3-1 板屋羽瑠 「おはよう」と すてきなアラーム いつもなる
  - 3-1 山崎琴美 毎朝の机の上のお弁当 感謝の言葉は照れ、言えない
  - だから お返し 空のお弁当 心の中でありがとう
- 朝ごはん川柳 教育長賞 1-2 村上美空 一日を 変えるまほうの 朝ごはん

## 3 年生 ふれあい体験 10 月 11 日（木）

明光保育園、龍洞保育園、つくも保育所の園児さん 70 名を招待し、「幼児との遊びやふれあいを通して、幼児への理解や関

心を深め、家族や周囲の人々との人間関係の大切さを学ぶ」目的で「ふれあい体験学習」を行いました。今年度は、様々な年代の方と遊びを通しての交流を行うため、シルバー人材センターの皆様に来校していただき、体、頭、指先を動かす遊びを中学生とともにさせていただきました。

生徒の感想に「園児さんと一緒に遊ぶ時、リードしてあげると素直に喜んでくれてよかった。しかし、中には内気な子もいるため、性格に応じて無理させないことも重要だと思った。」等の相手を尊重し、思いやりをもって接していこうとする内容がたくさん見られました。

今回ご協力いただきました、明光保育園、龍洞保育園、つくも保育所、シルバー人材センターの皆様、本当にありがとうございました。

